



三春中学校だより

第 35 号

発行日 令和 元 年 1 1 月 1 4 日

発行所 三春町立三春中学校

電 話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【全校絵を描く会を実施しました！ ～思い思いの場所で表現しました。～】

10月9日（水）、校舎の内外を会場に、『全校絵を描く会』を実施しました。夏休み前からお世話になっている美術科の角先生のご指導の下での取組でした。

当日は、体育館での全体指導の後、田村地区内からお借りした図画板を持って思い思いの場所へ移動し、風景や体の部分、文房具や部活動で使用する物品など、自分が描きたいと思う対象と向かい合いました。できあがった作品は、校長、教頭、教務で審査し、文化祭の展示の一つとして掲示させていただきました。

晴れてはいましたが、風があり少し肌寒い日で、外で写生をしていた子どもたちは、日陰と日向を行き来しながら絵筆をとっていました。美術に親しむよい機会となったようです。



【最優秀賞受賞！ ～『社会を明るくする運動作文コンクール』にて堂々の発表～】

10月30日（水）に、三春交流館まほらの大ホールにおいて、令和元年度第69回社会を明るくする運動第11回田村地区作文コンテストの表彰式並びに発表会が行われ、田村地区の中学校から出品された作文の中から厳正な審査のもと、本校3年生が最優秀賞をいただきました。

そのタイトルは、『優しさを感じる社会へ』というもので、テレビから流れるあつてはならない悲しい事件から、生活委員として学校生活を振り返り、あいさつによるコミュニケーションの大切さ、『その一声』の必要性、相手の立場に立って物事を考えることへのかけがえのなさを訴えたものでした。表彰式には、その作文を指導した教科担任の先生も訪れ、受賞をお祝いしていました。

みんなが安心して暮らせる社会、学校にいるすべてのみなさんが落ち着いて勉強や部活動等に取り組める学校づくりにむけてますます決意を新たにしました。



【音楽はすばらしい！ ～心を育て心を磨く音楽をぜひこれからも三春中の力で～】

10月30日（水）、三春交流館まほらにおいて、令和元年度の三春町小中学校音楽祭が実施されました。町内の全小・中学校から児童生徒が集い、音楽を通して交流を図りました。演奏の第一は、町民歌「栄えよ三春」の合唱でした。本校の合唱部の部長さんの指揮、岩江中学校の生徒さんの伴奏で町音楽祭が始まりました。

わが三春中学校の演奏は後半の部のおおとり。合唱部は「HAPPY BIRTHDAY」、吹奏楽部は「平成キッズメドレー」の演奏でした。町音楽祭の締めくくりには、これまで三春中吹奏楽部を引っ張ってきてくれた吹奏楽部の部長さんの全体指揮で、参加者全員による「翼をください」の大

合唱。音楽のすばらしさを心に深く刻む機会となりました。校内でのさまざまな式や集会の際の演奏、校外での敬老会、秋まつりなど、さまざまな機会に合唱部、吹奏楽部は花を添えてくれます。このすばらしい演奏を、心をつなぐ音楽にふれる機会を絶やすことなく、ますます充実させていかなければと強く感じた音楽祭でした。



【それぞれの学校、それぞれの地域の特長が感じられました！】

10月26日（土）に、中郷小学校の「さくらっ子まつり」、沢石小学校の「カルチャーフェスタ2019」、御木沢小学校の「ふれあい発表会」、11月2日（土）に、中妻小学校の「秋の発表会」、11月9日（土）に、要田小学校の「学習発表会」にお招きいただき、限られた時間ではありましたが、楽しく、頼もしく、それぞれの小学校さんの発表等を参観させていただきました。

中郷小学校さんは、平成2年の三春ダム建設に伴っての校舎移転30周年。その式典から始まりました。楽器の演奏、読書感想文の発表など、日頃の学習の成果をそのまま見てもらうという姿勢が感じられ、「おむすびころりん」の劇でも、セリフをしっかりと覚え、おばあさんにリードされるおじいさんの姿はほほえましい限りでした。太鼓に合わせた華麗なステップ、ネズミのお宿のお土産は、うちの小槌にピザにチーズフォンデュと現代的でした。

沢石小学校さんでは、切れのある演技、そのそろい具合、体育館に響く演技の声の確かさ、マイクなしの中での質の高い演劇が展開されていました。今年度から本格化した英語学習の成果の発表にも挑戦するとともに、大道具・小道具のクオリティーも相当なものでした。自信をもって歌って踊って、まるで、ディズニーパレードを思い起こさせるような質の高い演技・発表が、沢石小学校のすばらしい伝統になっているなど感じました。

御木沢小学校では、9名の卒業生が卒業までに自分たちは何をしたらいいか、自分たちの課題をしっかりと考え解決するためにはという社会派の発表だと感じました。銀河鉄道になぞらえ、自分たちがたどった過去に思いを巡らし、これからの道を探っていくという展開でした。銀河鉄道の車掌さんに誘われ、1年生、運動会などの場面が登場しましたが、伝えたかったことは「ありがとう」の心。一生懸命生きている、その一生懸命さを中学校でも大切にしていきたいなあと強く感じました。

中妻小学校では、発表会のプログラムに子どもたちの気持ちが現れていました。そこには、「令和初の発表会であり54人全員ががんばってきました。ごゆっくりご覧ください」と手書きでしたためられていました。6年生の実行委員長さんのあいさつは、ノー原稿でしっかりと会場の隅々まで視線を巡らしたすばらしい発表でした。「リズムスポーツパフォーマンス～挑戦～」では、さまざまな運動にチャレンジ、さらにすばらしいと感じたのは、他学年の子どもたちが片づけを手伝い、学校全体がチームとなって取り組んでいると感じられるところでした。

要田小学校では、ご来賓のみなさんが登場する子どもたちについてたくさんコメントをお隣さんと一緒にしているところがたいへん微笑ましく、地域とより近い中で子どもたちが、そして、学校があるんだなと感じました。チーム要田として48人の発表会。地域のみなさん、前校長先生、新教育長さん、駐在さん、PTAのみなさん、地域と共にある学校そのものでした。先輩が裏方として小さい児童さんの手伝いをする姿もすばらしかったです。

